

都市再生整備計画 事後評価シート

八橋周辺地区

平成24年3月

愛知県知立市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	知立市		地区名	八橋周辺地区			面積	510 ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	1,009百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業(八橋牛田1号線、来迎寺八橋1号線、南陽通線、牛田西中線、来迎寺町牛田町1号線、八橋町14号線、牛田町西中線、八橋町15号線、牛田町八橋1号線、牛田町20号線) 地域生活基盤施設(福祉の里ハツ田)										
		提案事業	地域創造支援事業(散歩みち整備事業、環境整備工事、八橋かきつばた園整備事業、八橋歴史散歩道案内板設置事業、牛田町公民館耐震補強事業、公共施設ガラス飛散防止対策事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 道路事業(昭和41号線、昭和45号線) 地域生活基盤施設(来迎寺小体育館)		削除/追加の理由 ・住民の発意による安全行動や警察の取り組みによるソフト面での対応により問題の解決が図られたため事業を削除 ・地元調整等により予定年次での施工を見送っていたが、急遽施工可能となり、交付申請関係上、市単独で施工したため削除。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 『目標2:観光地整備・道路改良並びに地域に漂ううおいとやすらぎにより、住みたくなる・行きたくなるまちづくりをする』に若干の影響が考えられるが、他事業等の変更により地区全体としての事業量に多きな変化は少ないと考えられるため、数値目標は据え置く。					
		提案事業	地域創造支援事業(昭和4号公園改修)		対象公園の周辺住民との意見調整の結果、現在の施設で十分機能が満たされると判断したため、対象事業を削除。			同地区に新たに整備・改修する公園にて機能を補完でき、指標の数値に影響はないと考えられるため、数値目標は据え置く。					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業((都)八橋里線→八橋来迎寺5号線【第三回変更時に名称変更】) 公園事業(西出口公園)		関連事業として計上していた八橋東部地区土地区画整理事業の事業化に伴い、地区内重要幹線である都市計画道路八橋里線を追加。 ・関連事業である八橋東部地区土地区画整理事業にて整備された公園用地において、地域住民に憩いや安らぎを与える空間と安全な避難空間を提供する公園施設を整備するため追加。 ・災害時の一時避難地に指定されたため、公園内にトイレを設置し、災害に対する住民の不安解消を図り、やすらぎのあるものへとするために追加。			『目標2:観光地整備・道路改良並びに地域に漂ううおいとやすらぎにより、住みたくなる・行きたくなるまちづくりをする』に若干の影響が考えられるが、他事業等の変更により地区全体としての事業量に多きな変化は少ないと考えられるため、数値目標は据え置く。 ・事業を削除する公園の補完的な要素も含んでおり、指標への影響は軽微と考えられるため、数値目標は据え置く。					
		提案事業	地域創造支援事業(かきつ姫公園改修事業、八橋児童遊園改修事業) 事業活用調査(事業効果分析調査)		観光地八橋の観光拠点のひとつである、中世鎌倉街道沿いに位置する「かきつ姫公園」を、トイレ設置及び休憩所設備の改修による観光機能強化で、より行きたくなるまちづくりを進めるために追加。 ・指定一時避難地に指定されている児童公園において、バリアフリー化に対応したトイレ及びスロープの設置を行うため追加。			事業の追加により『目標2:観光地整備・道路改良並びに地域に漂ううおいとやすらぎにより、住みたくなる・行きたくなるまちづくりをする』に若干の影響が考えられるが、数値目標は据え置く。 ・事業を削除する公園の補完的な要素も含んでおり、指標への影響は軽微と考えられるため、数値目標は据え置く。					
	交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	—										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	安全に暮らせるまちだと思う人の割合	%	46.9	H17年度	50.0以上	H23年度	モニタリング	評価値	○	あり	五輪橋(八橋町15号線)、竹橋(牛田町八橋1号線)の耐震補強、福祉の里ハツ田などの公共施設におけるガラス飛散防止、また、建物が密集する市街地において安らぎや憩いの場となる公園などのオープンスペースの確保が地震などの災害に対する安心感を高めたと考えられる。	平成24年5月
											なし		
	指標2	観光客数	人/年	224,200	H16年度	246,620以上	H23年度		214,000	△	あり	八橋かきつばた園の施設整備により、利用しやすくなったが、花付きの悪い年があったことに加え、整備内容が十分周知できていないなどの理由で観光客数の増加に著しい効果が現れなかったと考えられる。なお、近年は増加傾向に転じているほか、施設内の茶室の利用者数は増加傾向にあるなど、一定の効果は見受けられる。	平成24年5月
なし													
指標3	交差点の改善など交通事故からの安全確保が十分だと思う人の割合	%	33.2	H17年度	39.2以上	H23年度		40.6	○	あり	牛田町20号線の交差点改良、八橋牛田1号線や八橋来迎寺5号線の都市計画道路の新設改良、地区内各所の市道における路面損傷の改善が交通事故への安全対策の満足度を高めたと考えられる。	平成24年5月	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	かきつばた園が利用しやすくなったと思う割合	%	-	-			52.3				八橋かきつばた園における身障者用トイレの設置、園路のバリアフリー化、茶室の改修、また、歴史散策の案内板の設置が八橋かきつばた園の利用しやすさに関する意識を高めたと考えられる。	-
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	・八橋かきつばた園で身障者用トイレやバリアフリーの園路を整備したことで、観光ガイドボランティアが車椅子や高齢者の人に対して来園をPRしやすくなった。 ・かきつ姫公園は四阿を設置したことで、観光客以外にも地域住民がくつろげる空間となった。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
			対象事業である『八橋かきつばた園整備事業』の実施にあたり、「かきつばた」の維持管理を行っている地元組織である『旧跡保存会』や八橋かきつばた園内の茶室で活動を行っている『知立市文化協会茶道部』の関係者との協議を重ねながら整備内容について検討を実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も関係する団体と連携を図りながら、利用者のニーズを踏まえた維持管理を実施していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築		知立市全域的な取組みとして、児童及び生徒の登下校時の交通指導、交通事故死「〇」の日や交通安全運動の街頭指導(立ち番)などを行っており、対象地区においても「ハツ田小あんしんみまもり隊」等のボランティア団体が活動を実施している。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も安全・安心な地域を守っていくために、地域住民との協働による地区の安全環境の向上を図っていく。		

様式2-2 地区の概要

八橋周辺地区(愛知県知立市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:うるおいとやすらぎのある観光地周辺のまちづくり ○目標1:公共構造物の耐震補強等により、地区の安全性を高め、地域にうるおいとやすらぎのあるまちづくりをする。 ○目標2:観光地整備・道路改良並びに地域に漂うおいとやすらぎにより、住みたくなる・行きたくなるまちづくりをする。		安全に暮らせるまちだと思う人の割合	単位: %	46.9	H17年度	50.0以上	H23年度	60.9	H23年度
		観光客数	単位: 人/年	224,200	H16年度	246,620以上	H23年度	214,000	H23年度
		交差点の改善など交通事故からの安全確保が十分だと思う人の割合	単位: %	33.2	H17年度	39.2以上	H23年度	40.6	H23年度
		かきつばた園が利用しやすくなったと思ふ割合	単位: %	—	—	—	—	52.3	H23年度

■牛田町八橋1号線整備 (竹橋耐震補強)

■八橋来迎寺5号線の整備

Map showing various improvement projects in the Hachibashi area, including bridge reinforcement, road improvements, and park developments.

■かきつばた園の整備 (園路、四阿、トイレなど)

■八橋かきつばた園の整備 (園路、茶室、トイレなど)

まちの課題の変化

- 逢妻川に架かる五輪橋(八橋町15号線)、竹橋(牛田町八橋1号線)の耐震補強を実施したことで、地震時の避難や輸送ルートの安全性が高まった。
- 福祉の里ハツ田などのガラス飛散防止対策を実施したことで、避難所をはじめとした公共施設の地震時の安全性が高まった。
- 八橋かきつばた園において照明、身障者用トイレ、園路のバリアフリー、茶室の改修を実施したことで、かきつばた観賞などの散策がしやすくなった。
- かきつばた公園で身障者用トイレ、園路、四阿、案内表示を整備したことで、観光客などの休憩や集いの場が創出されるとともに、地区の歴史に関心を深めることができるようになった。
- 牛田町20号線の国道1号との交差点において右折帯を設置したことで、道路交通の利便性と安全性が高まった。
- 地区内各所の市道において路面損傷を改善したことで、自動車走行の快適性と安全性が高まった。
- 西出口公園やかきつばた公園などを整備することで、安らぎや憩いの空間が増加した。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 建物密集する市街地において、避難や物資輸送などのルートの代替性が確保された災害に強い市街地を形成する。
- 八橋かきつばた園のPRと適切な維持管理を引き続き推進するとともに、年間を通した利用者の増加に向け、利用者のニーズに対応した施設の充実を図る。
- 地区内には狭隘道路や見通しの悪い交差点が多数存在するため、運転手への注意喚起に向けた施設整備を図る。
- 地区内の他地域においても、引き続き安らぎや憩いの場となる公園等の整備や既存公園の利便性向上を図る。
- 観光客が地域に点在する観光資源を安全に分かりやすく周遊できるルートの整備や案内の充実を図る。
- 住宅地開発・人口増加に伴って増加する自動車交通に対応した地区内外及び近隣都市を連絡する幹線的な道路の整備を推進する。